

## 最高裁判所 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成23年7月25日(月) 最高裁判所中会議室	
委員	委員長 安藤正雄 (千葉大学大学院工学研究科教授)	
	委員 吉田恵子 (芝会計事務所・公認会計士)	
審議対象期間	平成22年10月1日から平成23年3月31日	
抽出案件	(備考)	
工事	一般競争	2件
	公募型及び工事 希望型指名競争	—
	通常指名競争	1件
	随意契約	1件
建設コンサルタント業務	一般競争	1件
	プロポーザル方式	—
	総件数	5件
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問及びそれに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

(別紙)

意見・質問	回答
<p>審議案件</p> <p>1 【最高裁庁舎耐震改修工法検討業務】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 入札説明書,補足説明書,仕様書等の内容が分かりにくいものだったのか。</li><li>・ 受注者の積算内訳は把握しているか。</li><li>・ 本件のような入札参加者の辞退については,何らかのペナルティーはないのか。</li></ul> <p>2 【名古屋高裁金沢支部・金沢地家簡裁庁舎新営機械設備(空調)工事,大分地家裁庁舎電気設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本件のような非常に低廉な機器の価格というのは通常考えられるものか。</li><li>・ 入札の手続としてはこれ以上追求できないところであるが,実態を調べる必要がある。</li><li>・ 契約の相手方の信用状況については,財務諸表等を注意してみれば,分かることも多いと考えるので,今後,低入札価格調査を行う際には,それらをも踏まえて判断されたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本件発注については,仕様書,特記仕様書及びそれを補完する別紙でもって入札説明資料としており,内容的にも特段の問題はなかったと考えている。</li><li>・ 本件の受注者については調査基準価格以上となっているので,内訳の提出義務はないが,業務を監督していく中で把握していきたい。</li><li>・ 裁判所では,故意でない限り,落札するまでは,指名停止等のペナルティーは課していない。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 普通はないが,この頃は,全般的に低入札が続いており,非常に低廉な価格での機器の納入が続いていた。</li><li>・ 施工品質の確保が図れるよう,施工体制確認型総合評価方式及び特別重点調査の導入等,入札手続の改善に努めていきたい。</li><li>・ 了解した。</li></ul>

<p>3【鳥取地家裁庁舎耐震改修工事設計変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随意契約にすると ,契約率が99.49%となるものなのか。</li> <li>・ 2回行っている設計変更を一つにまとめることはできなかったのか。</li> </ul> <p>4【大阪家裁庁舎内部改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低入札価格調査とするか入札無効とするかの基準はあるのか。</li> <li>・ 指名競争入札を実施する原因となった1者入札による一般競争入札について ,1者入札が恒常化しているわけではないということとは ,説明があったが ,例えば ,工事区画が分散している ,工期が短いといったことは1者入札に関係しているのか。</li> <li>・ 1者入札とならないよう ,早期に計画できるものは早期に発注する等していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計変更に際して ,受注者の見積金額が ,予定価格の範囲内とならなかった場合 ,契約ができないので ,再度 ,見積を行う。この見積りを繰り返していくと ,予定価格に近い金額での契約となる。</li> <li>・ 設計変更を行う必要が生じた時期及び内容が異なるため ,まとめることはできなかった。</li> <li>・ 低入札価格調査は工事の施工品質の確保等を判断する制度 ,無効は入札の有効無効を判断する制度となっており ,両者は目的を異にしているため ,基準によりどちらかというものではない。</li> <li>・ 裁判所の改修工事というのは ,いわゆる居抜き工事といって ,執務をしたまま ,裁判に影響が出ないように工事を進めていかなければならない。そのことによる施工性の悪さが参加者を少なくする原因なのかも知れない。</li> <li>・ 本件に関しては調整に時間を要し ,やむを得なかったと考えるが ,今後とも早期発注に努めていきたい。</li> </ul>
---	--